

青梅市の公の施設指定管理者評価シート

令和2 年度実施分

施設名	青梅市総合体育館および青梅市体育施設		
指定管理者名	青梅市スポーツ施設運営パートナーズ(代表企業:株式会社フクシ・エンタープライズ、構成企業:株式会社NTTファシリティーズ)		
指定管理期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	担当課	スポーツ推進課
設置目的	市民の体育およびレクリエーションその他社会教育の振興を図り、心身の健全な発達に資するため。		

評価ランク	評価内容
S	協定等を遵守し、仕様よりも優れた管理であった。
A	協定等を遵守し、仕様に沿った管理であった。
B	協定等を遵守し、おおむね仕様に沿った管理であったが、一部に課題があった。
C	協定等を遵守できず、仕様に沿った管理ができなかった。

評価項目	評価内容	評価方法	指定管理者評価	評価理由	担当課評価	
管理状況	適性な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。 ・業務の履行(清掃・巡回の回数など)は適切か ・人員配置は適切か。 ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	月次報告書 年次報告書 年度協定書 現地確認	S	新型コロナウイルス感染症に伴う施設利用制限があったが、市と協議のうえ、適正な人員配置をし、一部指定管理料の返還をおこなった。	S
	事業報告	定められた期間での報告および連絡が指定管理者からされているか。	月次報告書 年次報告書	A	関係各所からの取りまとめをはじめ、昨年に比べて改善できた。	A
	安全性の確保	管理区域内の安全性については十分に確保されているか。 ・施設の安全性は確保されているか ・協定や事業計画どおりの管理となっているか など	月次報告書 現地確認	A	破損の発見、確認、把握をし、簡易修繕の判断や計画修繕を迅速に対応している。	A
	法令等の遵守	個人情報保護のための体制、書類および情報の整理および保管等は適正であるか。 ・市への報告は適時、適切にされているか など	月次報告書 現地確認	A	事務所内の鍵付きキャビネットを使用して管理に努めている。	A
	業務記録	業務等の記録は、適正に作成、整理および保管がされているか。	月次報告書 年次報告書	A	業務日誌等による記録管理をし、月次報告をおこなっている。	A
	緊急時対応	災害時等の緊急時の体制は整っているか。	月次報告書	A	危機管理マニュアルを基に体制を整えている。	A
		災害時等の緊急時の対応研修、訓練等は行っているか。	月次報告書 年次協定書	A	危機管理マニュアルを基に研修を行っている。	A
適切な財務・財産管理	適切な財務運営・財産管理が行われているか ・建物や器具の破損、物品の紛失等はあるか など	月次報告書	A	建物や器具の破損状況を把握し、適切な管理を行っている。	A	
事業効果等	事業の取組	事業計画どおりのサービスが提供されているか ・事業の計画、実施、成果は計画どおりか など	月次報告書 年次協定書	A	新型コロナウイルス感染症に伴う施設利用制限があったため、市の方針に沿った事業運営をおこなった。	A
	利用の状況	事業計画どおりの利用状況となっているか ・利用者は事業計画どおりか(環境の変化など外部要因を考慮)	月次報告書 年次協定書	A	利用者のニーズや状況の変化に合わせた事業展開をした。	A
	利用者意見の収集	利用者アンケート等を年1回以上実施し、利用者意見の収集をおこなっているか	月次報告書 年次協定書	A	アンケート調査の他に意見箱を常設し、利用者の意見を収集している。	A
		利用者の満足度を得られているか ・職員の接客対応、利用条件等は適切か	月次報告書 年次協定書	A	施設、設備、備品の更新をし、利用者満足度の向上に取り組んだ。	A
	利用者意見に対する対応	利用者アンケート等による意見に対し、適切に改善策が講じられているか	月次報告書 年次協定書	A	利用者意見に対して早期回答し、回答内容を担当課に公表している。	A
	行政目的の達成	行政と連携を図り施設の目的を達成しているか ・施設の設置目的を達成しているか ・市および関係機関との連携が適切に行われているか など	月次報告書 定例打合せ会	A	毎月定例会を開催し、情報共有や意見交換はこまめにおこなっている。	A
	その他提案内容等	指定管理者選定時に提案のあった事項等について、提案とおりに実施できたか	月次報告書 定例打合せ会	A	新型コロナウイルス感染症に伴う施設利用制限があったため、市の方針に沿った事業運営をおこなった。	S

会計	処理	管理業務の会計に関する帳簿、書類の整備および保存は適正にされているか。	月次報告書 現地確認	A	帳簿、書類は適切に処理、保存している。	A
	管理	現金等の管理は適正であるか。また、金庫等の鍵の管理は適正であるか。	月次報告書 現地確認	A	現金や金庫の鍵については、厳重に管理している。	A
収支状況	施設の収支決算状況	赤字決算に陥っていないか。予算と決算に大きな相違があった場合はその相違の理由が的確である。	月次報告書 年次報告書 年度協定書	A	新型コロナウイルス感染症に伴う施設利用制限があったため、大幅な減収額となり、指定管理料の補填対応となった。	B
	指定管理者の収支決算状況	経常利益率(経常利益÷売上高×100(当期経常増益額÷経常利益×100))がプラスになっており、赤字決算に陥っていない。	月次報告書 年次報告書 年度協定書	A	一定の基準を満たしている。	A
		借入金に依存した資本構造ではなく、自己資本比率(自己資本(または正味財産)÷総資本×100)が30%以上となっている。	月次報告書 年次報告書 年度協定書	A	一定の基準を満たしている。	A
		流動比率(流動資産÷流動負債×100)が100%以上となっており、事業継続の安全性に不安がない。	月次報告書 年次報告書 年度協定書	A	一定の基準を満たしている。	A

1 指定管理者自己評価における評価理由、意見等

評点	数
S	1
A	20
B	0
C	0

記入欄

・基本協定書等を遵守し、募集要項および管理運営基準に沿って業務を遂行いたしました。
 ・管理業務および事業効果については、新型コロナウイルス感染症に伴う市の運営方針に沿った管理・運営をおこないました。
 ・会計および収支状況については、新型コロナウイルス感染症に伴う施設利用制限があり、利用者数の減少や利用料の減収に大きな影響を受け、のちに市と十分な説明と協議をおこないました。

2 市の評価、意見等

評点	数
S	2
A	18
B	1
C	0

記入欄

管理状況: 利用状況に応じた適正な人員配置を行い、適宜の報告・連絡・相談がなされている。また、月次報告書をはじめとした記録書類が整理されている。コロナ禍においても感染対策を講じ、安全な管理運営に努めた。
 事業効果等: 外的要因によるやむを得ない利用者減少・減収はあったが、指定管理者ならではのノウハウを生かした様々な業務改善を提案し、利用者の満足度も高い水準にある。
 会計: 市の要請に応じて各種積算根拠の提示が迅速にされ、十分な説明と協議の機会があった。
 収支状況: 人件費の高騰などの要因により、指定管理料が増加傾向にある点は課題である。